

# 総務・経済常任委員会報告

総務・経済常任委員会では、昨年(2014)の12月定例会以降、所管事務調査を3回にわたり開催し、3月定例会で竹田総務・経済常任委員会委員長から「所管事務調査報告」が行われましたので、その内容についてお知らせします。



3月オープンに向け進捗状況を確認した郷土資料館(第10回総務・経済常任委員会)

## 調査報告書

### プレミアム付商品券 経済効果達成に期待する

人口減少問題は、喫緊の課題として平成26年第4回木古内町議会定例会における総務・経済常任委員会報告として、政府が設置した「まち・ひと・しごと創生本部」から出される情報収集に努めるとともに、引き続き会議を開催する中で実施に向けた検討が十分行われるよう要望したにも関わらず、この間、会議を全く開催することなく国に対する交付金の申請事務を進めてきたことは誠に遺憾です。

とりわけ、地方消費喚起・生活支援型事業として行われる予定の、「プレミアム付商品券発行事業」については、本年度の実施検証と分析を行うとともに、利用期間等を含め幅広く改善した中で発行総額も6760万円と本年度より増額になっていることから、所期の目的である経済効果が十分に達成できよう要望します。

なお、「人口ビジョン及び地方版総合戦略策定に係る基礎調査業務」については、安易にコンサルタントに委託をするのではなく、人口減少対策検討委員会における議論を行う中で、地域の現状や意向が十分反映されるような事業となるよう強く要請します。

### 質疑要旨

**吉田委員** プレミアム付商品券の実施状況について報告がありました。報告が、換金されない商店が8店舗あったという点ですが、どのような業種だったのでしょうか。

**塚主査** 飲食店や写真店、スナックなど、8店舗の商店で使用されていませんでした。

**竹田委員長** 町民が使いやすいように期間延長の要望をしていますが、行政でも補助をしており、商工会任せではなく期間の延長や使用店舗の見直しを行う中で、町民から喜ばれるようにしなければなりません。

**木村産業経済課長** 期間や対象店舗、金額・プレミアム率を含め、商工会と意見交換する中で実施しましたが、商品券の売れ行きが悪かったという結果も出ていますので、次回以降に役立てていきたいと思っております。

**岩館委員** 人口ビジョン基礎調査業務は、委託業者に丸投げしてもらうべきではありません。家族構成や人口動態等の調査であれば、地元の人でもできるのではありませんか。自分たちが決するというのは気持ちを持ってなければならぬと思います。

**福田まちづくり新幹線課長** 総合戦略の策定にあたっては、人口ビジョンの分析が非常に重要です。業者には、町民への意向調査や他町村の事例を示していただく中で、住民をはじめ産業・行政・教育・労働・金融の関係者による推進組織で検討し、最終的には町が計画書や報告書を作製することにしています。